



図書館から

新しい本が入りました

コンカツ?

石田 衣良 / 著

小説

アラサー4人組が理想の男探しに乗り出す。女性の視点から結婚という「絆」の意味を問い直す意欲作。



わが町はいかにして
先進自治体となったか

大本 圭野 / 編著

一般書

平成合併で小さな村は大きな町を呑み込んだ長野県旧八千穂村、医療・保健・福祉の一体化を成し遂げた岩手県藤沢町など、地域を再生していく力は何か。



めざせ! ダンスマスター
全3巻

村田 芳子 / ほか監修

児童書

ダンスはもともと気持ちの自由に表示するものです。ダンスの基礎から作品にするまでをていねいに解説しています。



大型連休初日の4月28日、子どもまつりと古本市が公民館で開かれました。子どもまつりでは、劇団「童夢」による人形劇「三びきのこぶた」の上演をはじめ、射的やバルーンアートなどのあそびの広場、ネイルアートなど子どもたちは思う存分楽しみ、笑顔満開でした。また、古本市も、子どもから大人まで大勢の人が詰めかけ、にぎわいました。



あそびの広場など
子どもたちでにぎわう



子どもまつり・古本市を開催

温水プールKAPPAオープン



大勢の
子どもたちで
にぎわう

温水プール「KAPPA」が4月29日オープンしました。大勢の子どもたちが詰めかけ、流水プールなどで歓声を上げていました。また、5月6日まで大型連休中とあって、町内外から家族連れなど大勢の方が詰めかけていました。

北海道日本ハムファイターズ野球教室が4月28日、町営球場で開かれました。

講師は、日ハム球団職員の立石尚行さんと牧谷宇佐美さん。牧谷さんは、旭川実業高校出身でヤクルトスワローズで活躍しました。

小中学生約70人が参加、キャッチボールなどの基本練習をはじめ、走・攻・守にわたるプロの技術を指導してもらいました。

プロの技術学ぶ

日ハム野球教室



開拓記念日のつどいで 町の発展を誓う

開拓記念日のつどいが5月8日、居武士小学校校庭にあるせいしやうひ旗頌碑前と中央公園内の開基百年記念碑前で、約80人が参加して開かれました。

旗頌碑前では、居小全児童も参加。児童を代表して児童会書記の山田天悠音あゆねさんが「先人の築いた豊かな訓子府をより豊かにし、今以上に住みやすい町にしていくためがんばります」と誓いの言葉を述べました。続いて、中央公園に会場を移し、同移民団が入地してから100年に当たる平成8年に高知県東津野村(現・津野町)から贈られた開基百年記念碑前で、全校仲よし会の森谷汰樹たいき会長が「開拓魂を忘れずに新しい訓子府をつくります」と誓いの言葉を述べました。両会場で黙とうが行われ、菊池町長が町の発展を願うあいさつを行いました。

開基百年記念碑前



旗頌碑前



居武士小学校

1年生を迎える会で楽しく

訓子府小学校



新入児童を歓迎する「1年生を迎える会」が、訓子府小学校と居武士小学校で4月27日にそれぞれ開かれました。新1年生は、訓小が31人、居小が2人。上級生から手作りの作品をプレゼントされたり、さまざまなゲームをして楽しみました。



訓子府小学校の遠足が5月18日に行われました。この日は、気温が10度を下回り、肌寒い一日でしたが児童は元気に出発しました。目的地は、レクリエーション公園や北見農業試験場、さらに北見市など徒歩やバスでめざしました。目的地で遊んだり、お弁当を食べるなど、児童は、寒さを忘れて楽しい一日を過ごしていました。

遠足。楽しいなあ

寒さの中、子どもたち元気に目的地へ

